

17 ネイチャービンゴ

ネイチャービンゴカード 25マス

自然の中にあるものを集めてビンゴゲームをします。

- 「見る」「聞く」「かく」「味わう」「さわる」の五感をはたらかせて自然の中にあるものを見つけ、ビンゴを完成させていきます。
- 楽しみながら自然を感じ、新たな発見ができる活動です。
- 16マスと25マスの2種類のカードがあります。

鳥のさえずり	いいにおい	とげがたくさん	寒い	手のひらより
はるの	たまご	鳥の	どうぶつ	木の
たね	黄色い	ひっくり	かさかさ	鳥の
木に	ふわふわ	小さい	つるつる	風の
はる	ぬけがら	むらさき	くもの	木の

時 期	通 年 (積雪時不可)	所要時間	16マスコース： 30分～1時間 25マスコース： 1時間半～2時間	活動場所	自然の家周辺
対 象	小学生以上 (大人同伴であれば幼児でも可)	人 数	制限なし グループで行う場合は1グループ3～4人		
準備物	自然の家で貸し出すもの			団体や個人で準備するもの	
	☐ ビンゴカード ☐ 記録用のバインダー ☐ 看板「この先進めません」見本			☐ 筆記用具 ☐ 腕時計があるとよい	
活動の手順	活動の実際	1 活動の説明			
		(1) ネイチャービンゴの楽しさやねらい (2) ゲーム方法 ・ビンゴカードの各マスには見つけるものを書いてある。 ・森の遊歩道を歩いてビンゴカードに書いてあるものを見つける。 ・縦・横・斜めがそろってビンゴになる。 ・1列だけでなく、できるだけたくさんのビンゴを作る。 ・誰か1人が見つけたら、必ずグループの友達に教えたり話し合ったりする。 ・手のマークが付いているものは、見つかったら持ってくる。その他のものは、どこで、どんなものがあつたのかをよくおぼえて来る。 (3) 注意事項 ・自然を大切にし、必要以上のものは採集しない。 ・グループで一緒に行動する。 ・ウルシ、ツタウルシに気を付け、遊歩道を歩く。 ※遊歩道以外の場所を通るとウルシに触れてしまうことがある。 ※実物を見せて確認するとよい。			
備 考		2 集合時刻を確認する。			
		3 グループごとに見つけに行く。 4 時間になったら集合し、発表会を行う。 ・持ってきたものはテーマごとに並べて発表するとお互いのものが比較でき、新たな発見ができる。 ・「びっくりしたもの」では、発見の感動を伝え合う。			
		1 正解がありませんので、時間を競ったり見つけた数で順位を決めたりすることはありません。			
		2 ビンゴカードは団体で自作してもかまいません。学習内容と関連させたり、季節に合わせたものを考えたりするのも楽しいでしょう。			

ネイチャーゲームの「フィールドビンゴ」参考
公益社団法人日本シェアリングネイチャー協会

https://www.naturegame.or.jp/know/sn_life/000718.html